

「那須の森(仮称)」保全整備構想説明図

【位置】

那須甲子有料道路と北温泉道路の間。標高1,150~1,000m

【概要】

- ・ 暖斜面と那須甲子有料道路沿いの平坦地から成る。
- ・ 全域がミズナラを主体とする二次林。明るい林内空間が含まれ、樹高は比較的低い。下層にはツツジ科の植物が多く生育。
- ・ H17まで放牧地として利用。

【保全整備方針】

- 緩斜面と明るい林を活かした自然体験の場や二次林の自然観察の場の整備
- 能動的な森林管理の導入

○ 予定する活動タイプに応じたエリア分け

■ エントランス地区 (メイン拠点)

- 利用者案内、情報提供、ガイダンス提供等の拠点整備
- 指導者養成・研修拠点、駐車場等の便益施設、管理施設の整備

■ 子供の体験活動エリア

- 自由に創造的な遊び体験空間の整備
- ツリーハウス、自然解説標識等の整備

■ 森の手入れ体験エリア

- 二次林管理(間伐、枝打ち、下刈り等)の追体験の場の整備

■ ブナの森エリア

- ブナ林の保存、最小限の自然観察路の整備

■ 北温泉台入口広場 (サブ拠点)

- 休憩舎、展望台、トイレ等の整備

《保全に留意すべき地区》
余笹川沿いの自然性の高いブナ林の保全

上部ゾーン(テーマ「森に憩う」)

【位置】

北温泉道路より上部。標高1,400~1,150m

【概要】

- ・ 急峻な地形。各所に崩壊地が見られる。
- ・ 亜高山帯のダケカンバ、噴気等の影響による特異な植物群落が生育。
- ・ 谷沿いに噴気孔や温泉泉源が分布。

【保全整備方針】

- 現状の地形や植生の維持
- 既存歩道の適切な活用
- 歩道等の整備による貴重植物群落の保護

中部ゾーン(テーマ「森を体験する」)

下部ゾーン(テーマ「森を知る」)

【位置】

那須甲子有料道路から東端まで。標高1,000m~630m

【概要】

- ・ 那須甲子道路下方の急斜面と沢、東部の平坦な台地面と扇状地面から成る。
- ・ 全域がミズナラ及びコナラの二次林。谷部はシデ類やカエデ類が優占する溪畔林。
- ・ S30~40年代に森林施業。S55まで放牧地として利用、以降自然林への遷移が進行。

【保全整備方針】

- 森林や溪流の自然観察、エコツアーのフィールドとして活用
- 自然の推移に委ねる管理、自然観察路網の整備
- ガイド付きグループ利用による利用のコントロール
- 天然林への移行を促進する能動的管理の導入検討(植林地)

那須ゲート・エリア

【位置】

旧那須町競技場跡地(那須地域の入口)

【保全整備方針】

- 国立公園の自然や利用等の情報提供拠点(ビジターセンター)の整備
- 自然環境調査に関する展示、情報提供の拠点整備
- 国立公園管理の中心拠点としての自然保護官事務所等の設置

日光国立公園那須高原集団施設地区

0 0.5 1 2 km

